

令和2年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

飯山市

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	森林整備事業 菜の花公園木製ベンチ製作委託
事業費 935,000 円		(うち支援金: 935,000 円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林の価値について、当地域材の低価値による関心の低さから、森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が忘れられ、森林の保全が放置されつつある。

(2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

飯山市の大イベントのひとつ、菜の花まつり会場の菜の花公園に県産材を使用したベンチを導入することによって、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促す。

事業内容

(1) 実施場所 飯山市瑞穂菜の花公園

(2) 対象者 市民、観光客

(3) 実施方法 県産材ベンチ、解説用看板の導入

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和元年度～令和5年度)

- ・R1～R3 で菜の花公園全体に県産材ベンチを導入する。

R4以降は未定



完成



完成

事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

県産材のベンチを導入することにより、飯山市民に県産材の良さを普及できる。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

菜の花公園を整備することにより、快適な公園利用ができるとともに、長野県産材の魅力や森林税の有効利用をPRできる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

飯山市の観光の中心である菜の花公園にて、県産材ベンチを導入することで快適な公園利用ができ、多くの住民に対して県産材の良さを伝えることができる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

県産材のベンチを導入することにより、飯山市民に県産材の良さを普及できた。菜の花まつりの他、大勢の観光客が訪れる菜の花公園なので、市外、県内外の方にも、木製の温もりのあるベンチに座ってもらい、自然豊かな長野県のPRにつながった。

(2) 課題

市内で長野県産材を利用したいという意識が低いことから、今後も県産材の普及啓発が必要である。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き、菜の花公園にて県産材の普及啓発を行う予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)